

根室市のまちづくり・市政推進のために取り組むべき課題
人口減少問題について

根室市の2021年3月末の人口は24,594人（外国人含む）です。人口のピークは1966年の49,896人この55年間で半減（50.7%減）したことになります。

人口減少は、子育て、教育、医療・福祉・介護、そして経済活動等々私たちの暮らしに様々な影響を及ぼすこととなりますが、2019年12月に示された根室市人口ビジョン（改訂版）では、人口減少が更に進み、将来的にも大変厳しい状況が見込まれています。

この根室市人口ビジョンのベースは国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が示した根室市の将来推計人口（一番厳しい見通し）で、10年後の2030年には2万人を割込み19,613人、2040年15,190人、2050年11,425、40年後の2060年には1万人を割り込み8,358人と推計されています。

社人研の推計は、国勢調査人口をベースとした推計で、現在の推計値は、2015年統計の数値に基づくものですので、昨年为国勢調査の結果が反映された場合、更に、下方修正される可能性があるものと思います。

人口減少が進む中で65以上の高齢者の人口に占める割合も気になるところですが、本年3月末現在で35.05%ですが、これが10年後の2030年には38.2%、2040年42.5%、2050年45.6%、40年度の2060年には48.2%に達する見込みです。

地域産業を支える生産年齢人口（15歳から64歳まで）も人数、構成比率もともに減少が見込まれています。

このような、人口減少の推計が示されたことを踏まえ、根室市は、人口減少の抑制と関係人口の拡大を目指し、根室市の自主性、主体性を発揮し地域の実情に沿った地域戦略として創生総合戦略（第2期）を今年の4月に策定、子どもたちに誇れる、まち・ひと・しごとの創生に取り組むこととしています。

この第2期創生総合戦略は、安定した雇用、新たな人の流れをつくること、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえること、時代にあった地域づくり、市民サービスを維持すること目標として、地域の振興・発展に向け Challenge、コロナ禍での新たに日常へ change、多様な人材との Collaboration の3つの C を合言葉に、人口減少を抑えるための地域課題解決を進めるものです。

議会としても、新たな戦略の策定段階で様々な意見を述べてきましたし、学識経験者や市民の声も反映されている計画です。

人口減少問題は私たちの暮らしに様々な影響を及ぼすこととなりますので、人口減少の将来見通しを理解したうえで、この創生総合戦略をベースに、しっかりとした将来ビジョンを持って様々な施策展開に勇気をもって、取り組むことが必要であり、このまちを愛する市民の総意で、住みたい、住み続けたいと思えるまち、選ばれるまちを目指さなければなりません。